

ヤマホール II

株式会社 ヤマワ

泥濃式推進工法は、高濃度泥水を利用し、切羽の安定を図りながら推進し、排泥は真空吸引による方法が取られています。この方法で作業を進めるに当り、作用泥材は重要な役割を占めています。この度開発されました「ヤマホール II」は、従来の製品に比べて、誰にも簡単に作液出来、十分な性能を持った製品であります。その特長と使い勝手の良さをご理解いただき、ご利用いただきますよう切にお願い申し上げます。

1. ヤマホール IIの特長

- わずかな使用量により十分な性能が発揮されます。
- 従来の材料使用量に比べて使用量が低減します。
- 材料置場、使用量の低減により作業環境が改善されます。
- 低比重スラリーの為、送排泥能力が向上します。

2. ヤマホール IIの使用方法

- 1) 所定量の水をミキサーに投入して下さい。
- 2) 逸泥防止材（目詰材）を使用する場合は、先に投入して良く攪拌して下さい。
- 3) ミキサーを回しながら、ヤマホール IIの規定量を少しずつ添加して下さい。
- 4) 粘土使用の場合は、ヤマホール IIの添加前後に粘土を投入して下さい。
- 5) 10分程度攪拌した後に御使用下さい。

3. 製品の性状および包装形態

外 観	淡黄色・粉体
成 分	天然鉱物
嵩 比 重	1.0～1.05
安 全 性	毒物および劇物取締法：毒劇物 該当せず 労働安全衛生法：有機則、特化則、表示物質 該当せず
包装形態	25kg/袋 入 25kg/缶（カイコー1）等

4. 泥濃式推進工法配合例（1M3用配合）

	単 位	土質による区分							
		A	B	C-1	C-2	C-3	C-4～C-6	D	E-1～E-3
ヤマホールII	Kg	6	12.5	12.5	12.5	15	15	6	12.5
目詰材	Kg	4	12	12	12	14	16	0	0
粉末粘土	Kg	0	0	30	60	90	120	0	30
離 間 剤	Kg	0	0	0	0	0	0	0	0
水	Kg	993	982	970	958	943	929	993	982

離間剤＝粘土付着防止剤（カイコー1、等）

土質区分	区分内容	土質区分	区分内容
A	粘性土（N値5未満）、砂質土（N値25未満）	C-1	砂礫土 礫率30～40%
B	砂質土（N値25以上） 砂礫土（礫率30%未満、礫径20mm未満）	C-2	砂礫土 礫率40～60%
		C-3	砂礫土 礫率80%程度
D	粘性土（N値10以上～50未満）	C-4～C-6	砂礫土（礫率80%程度） 最大礫径推進管40%超
E-1～E-3	軟岩		

5. 取り扱い上の注意

- ・ 防塵マスク・防塵めがねを着用状の上取り扱い下さい。
- ・ 目に入った場合、皮膚についた場合は15分間以上清水にて洗って下さい。
- ・ 吸い込んだり飲み込んだりしたら、吐き出させた後医者診察を受けて下さい。
- ・ 製品そのものは無害ですが、お取り扱いには十分注意して下さい。